

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神疾患とその治療 I (福祉心理学科)			必修 (精・心) 選択 (社)	2	2	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
永井 正則		B304	mnagai		水曜,木曜 12:10~13:00	
授業の目的・概要		<p>&lt;目的&gt;精神医学の基礎となる脳の解剖・生理、心の働き、精神疾患の概念と分類などについて学び、精神保健福祉士として将来現場に立つときの基礎知識と応用力を身につける。</p> <p>&lt;概要&gt;自宅学習課題と同時双方向型授業により学習する。精神保健福祉士の国家試験問題も随時とりあげる</p>				
学習上の助言		<p>自宅学習では、予めメールで学習課題を各自に送り、レポート提出を求め、その後フィードバックをする。同時双方向型授業では、その授業で学んだこと、わかりづらかった点、質問などをリアクションペーパーとして授業後に提出することを求める。わかりづらかった点や質問には次回以降の授業時に対応する。授業中に特に指定した図表については、自身で説明できるようにする。</p>				
教科書		新・精神保健福祉士養成講座 1 精神疾患とその治療/日本精神保健士養成校協会 編/中央法規				
参考書		特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	精神疾患の理解に必要な神経系の構造と働きを理解し、説明できる。			社(2), 精(2), 心(2)		
②	代表的な精神疾患の成因と症状、診断法、治療法を理解し、説明できる。			社(2), 精(2), 心(2)		
③	精神医療における多職種の役割を理解し、説明できる。			社(2), 精(2), 心(2)		
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	「インフォームドコンセントの定義と歴史および成立条件と免責事項」：精神疾患の治療におけるインフォームドコンセントの重要性について学ぶ。	自宅学習 (課題の送付、 レポートの提出、 フィードバック)	「インフォームドコンセントも定義と歴史および成立条件と満席事項」についてレポート提出		6	
2	「精神科治療と入院形態」：精神疾患の治療に関連した法律の歴史を学び、現在の精神保健福祉法で規定される入院形態を学ぶ。		「精神科治療と入院形態」についてレポート提出		6	
3	「不安障害」：神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現障害のひとつとしての不安障害についてその症状を具体的に学ぶ。		「不安障害」についてレポート提出		6	
4					6	
5	「精神作用物質と依存症候群」：精神作用物質による精神および行動の障害のひとつとして依存症候群について学ぶ。		「精神作用物質と依存症候群」についてレポート提出		6	
6	「アルコール摂取とアルコール依存症」：依存症候群の具体例としてアルコール依存症について学ぶ。		「アルコール摂取とアルコール依存症」についてレポート提出		6	
7	精神障害の概念」：健康の定義、健康と精神障害の違いについての考え方を学ぶ。		「健康の定義と健康の社会決定要因」、「健康と精神障害の違い」についてレポート提出		6	
8	精神医学概論①」：精神医学の歴史：古代から現代までの精神医学の変遷の概要を学ぶ。	同時双方向型授業	授業と事前に Teams により配信した資料から「精神医学の変遷の概要」を理解する。		4	
9	「精神医学概論②」：精神現象の生物学的基礎：ニューロンの働き；ニューロンによる情報伝達のメカニズムを学ぶ。受容体刺激薬や遮断薬の精神医学への応用例について学ぶ。		授業と事前に Teams により配信した資料から「ニューロンの機能と情報伝達」を理解する。		4	
10	「精神医学概論③」：精神現象の生物学的基礎：中枢神経系① 延髄、橋、中脳、視床、視床下部；中枢神経系の発生とそれぞれの部位の役割を学ぶ。		授業と事前に Teams により配信した資料から「中枢神経系の部位と発生」を理解する。		4	
11	「精神医学概論④」：精神現象の生物学的基礎：中枢神経系② 小脳、大脳皮質；小脳と手続き記憶、大脳皮質の機能局在、大脳半球の左右差などについて学ぶ。		授業と事前に Teams により配信した資料から「小脳と手続き記憶」、「大脳皮質の機能局在と左右差」を理解する。		4	
12	「精神医学概論⑤」：精神現象の生物学的基礎：中枢神経系③ 大脳皮質；大脳皮質の機能局在、左右分離脳からわかることなどについて学ぶ。		授業と事前に Teams により配信した資料から「高次脳機能の局在と統合」を理解する。		4	

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

13	「精神医学概論⑥」：精神現象の生物学的基礎：中枢神経系④ 大脳辺縁系；海馬と記憶、大脳辺縁系と情動などについて学ぶ。	同時双方向型授業	授業と事前に Teams により配信した資料から「大脳辺縁系と情動」を理解する。	4
14	「精神医学概論⑦」：精神現象の生物学的基礎：末梢神経系；脳神経、体性神経系、自律神経系について学ぶ。		授業と事前に Teams により配信した資料から「情動と末梢神経」を理解する。	4
15	「精神医学概論⑧」：心の理解：心の理解についてさまざまな考え方を学ぶ。		授業と事前に Teams により配信した資料から「フロイト、ユング、アドラー、マズローによる心の理解」を知る。	4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	30	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	20	20	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験を行う。試験の配点は70点とする。試験に先立って問題集を配布する。問題集はサブノートとして利用できるよう工夫されているので講義終了後も活用してほしい。と定期試験を合わせて評価する。	定期テストの講評・解説は後期の「精神疾患とその治療Ⅱ」の中で行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	自宅学習課題のレポートは7課題で30点として評価する。	レポートは1~2課題ごとにフィードバックする。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備考

Teams を使って遠隔授業を行います。課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意してください。同時双方向型授業は時間割に沿って行います。10分前には準備を整えておいてください。今後、シラバスが再び変更される可能性があります。